

栄養教諭に関する科目（平成26年度入学生用）

科目区分	科目コード	科目名	単位	回数	学年	開講	担当教員	摘要
栄養教育に関する科目	70010	学校栄養教育論	2	15	3	前期	山口 光枝	
	70020	学校栄養実践論	2	15	3	後期	山口 光枝	
教職に関する科目	70110	教職論	2	15	1	前期	伊勢 孝之	
	70120	教育原理	2	15	1	後期	安部 貴洋	
	70130	教育心理学	2	15	2	前期	沼山 博	
	70140	教育制度論	2	15	2	前期	下村 一彦	
	70150	教育課程・方法論	2	15	2	後期	朝倉 充彦	
	70160	道徳教育・特別活動論	2	15	3	前期	伊勢 孝之 安倍 啓司	
	70170	生徒指導論	2	15	3	前期	沼山 博	
	70180	教育相談論	2	15	3	後期	菊池 武剋	
	70190	栄養教育実習	1		4	前期	笠原・沼山・山口	1週間
	70200	栄養教育実習事前事後指導	1		4	前期	笠原・沼山・山口	集中
	70210	教職実践演習（栄養教諭）	2	15	4	後期	笠原・沼山・山口	

科目区分：教職に関する科目

科目コード	授業科目名	単位	担当教員	必修 選択	学年	開講 時期
70110	教職論	2	伊勢 孝之	自由	1	前期
授業目的	<p>教職の持つ意義や教員の役割、研修・服務・身分保障等を含む教員の職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等、教育職員免許法施行規則に規定されている事項を概説するとともに、中央教育審議会答申や各種報道・世論調査・統計等の客観的資料を用いて、学校をめぐる近年の様々な状況変化について講義や討論を行い、もって、教員に対して社会的要請が強い事柄である教育的愛情、教員としての倫理観・使命感・遵法精神等の涵養を目指す。</p>					
授業計画	<p>第1回：教師とは誰か 教師・教職の歴史 第2回：教師論・教師像 その1 シュプランガー；ケルシェンシュタイナー 第3回：教師論・教師像 その2 ブーバー；ボルノー 第4回：現代の課題と教師 その1 中央教育審議会答申に見る教師像 第5回：現代の課題と教師 その2 新聞等に見る教師像 第6回：教師の職務 その1 学級作りと子どもの学び 第7回：教師の職務 その2 教員組織と教育実践 第8回：教師の職務 その3 教科・道徳・特別活動等の学習指導 第9回：教師と教育法規 その1 日本国憲法・教育基本法・学校教育法・同施行規則の規定 第10回：教師と教育法規 その2 地方公務員法・地方教育行政法・教育公務員特例法の規定 第11回：教師と教育法規 その3 県教育委員会の諸規定・通知・パンフレット 第12回：教師養成制度と研修制度 養成・採用・研修（初任者研修・10年研修・免許更新制）</p>					

	<p>第13回：教師の専門性と力量 反省的実践家・指導力・カウンセリングマインド</p> <p>第14回：学校経営と教師 学校経営の機能と教師の協働</p> <p>第15回：学校改革と教師 これからの学校のあり方と教師のありかた</p>
成績評価 方 法	テスト50%、態度(授業内活動、小テストを含む)50%
教科書 参 考 文 献	教科書：特になし。プリントを用意します。 参考書：小島弘道他『教師の条件 第2版』(学文社 2006)
履修の条件	
備 考	

科目区分：教職に関する科目

科目コード	授業科目名	単位	担当教員	必修 選択	学年	開講 時期
70120	教育原理	2	安部 貴洋	自由	1	後期
授業目的	<p>本授業は、「教育とは何か」という原理的な視点から、教育の理念や歴史、思想に加え、行政や制度など幅広く教育全般について学び、現代社会における教育の原理とその下での教職の使命を理解することを目的とする。授業の到達目標は、①教育の意義と目的、教育と福祉との関連性を理解すること、②近代教育の思想と歴史を学び、教育の基礎的理念と理論について理解できること、③日本と諸外国の教育制度および教育実践についての知識を得ること、④現代社会における教育の現状と課題について理解することである。</p>					
授業計画	<p>第1回：授業概要の説明と授業計画 教育原理を学ぶ理由</p> <p>第2回：教育の意義と目的 教育の本質と人間存在</p> <p>第3回：教育と児童福祉 子どもの人権にかかわる法律と制度（憲法・教育基本法・児童福祉法・子どもの権利条約など）</p> <p>第4回：子どもの社会化と教育の役割 人格形成の基盤としての学校・家庭・地域社会</p> <p>第5回：諸外国の近代教育の思想と歴史（1） コメニウス、ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルなど</p> <p>第6回：諸外国の近代教育の思想と歴史（2） ヘルバルト、デューイ、モンテッソーリなど</p> <p>第7回：日本の近代教育の思想と歴史（3） 日明治公教育と教育勅語、大正新教育、戦時下の学校と教育</p> <p>第8回：子ども像と教育観の変遷 〈子ども〉期の発見と「教育」の誕生、子どもの世紀と新教育など</p> <p>第9回：教育の制度 学校制度の成立と展開、教育の機会均等原則、学校体系、教育制度改革の動向</p> <p>第10回：教育課程の編成と教育評価</p>					

	<p>顕在的カリキュラムと隠れたカリキュラム</p> <p>第11回：日本と諸外国の教育実践 知識注入型授業と獲得型授業</p> <p>第12回：現代社会の諸問題と教育課題（1） 教育の病理現象（いじめ、自殺、体罰、不登校、問題行動）</p> <p>第13回：現代社会の諸問題と教育課題（2） 教師と学校の役割（生きる力、確かな学力、開かれた学校づくり、説明責任）</p> <p>第14回：現代社会における教育の理念と教師の役割</p> <p>第15回：理解度の確認と総括</p>
成績評価方法	<p>テスト 50%、レポート 30%、態度 20%</p> <p>授業への取り組み（意欲・態度）、リアクションペーパー、最終試験などにより総合的に評価します。</p>
教科書参考文献	<p>使用しない。適宜、授業資料を配布します。</p> <p>①文部科学省『小学校学習指導要領解説・総則編』2008年、ぎょうせい</p> <p>②文部科学省『中学校学習指導要領解説・総則編』2008年、ぎょうせい</p> <p>③市川須美子他編『教育小六法〈平成25年版〉』学陽書房、2013年（最新版）</p>
履修の条件	
備考	